



世田谷稲門会会報

ホームページURL : <https://w-setagaya.tokyo/>

令和5(2023)年12月15日
第 84 号
 発行人 世田谷稲門会 勝子
 発行集 並多美 子行子
 編集 山内子 林昭俊
 大兼若 花田直
 花田 昇(とだのぼる)

事務局 〒157-0062
 世田谷区南烏山5-4-10-4F
 TEL/FAX 03-5384-2435
 戸田 昇(とだのぼる)

令和六年新春懇親会 花田勝彦氏を迎えて

1月28日(日)11時半から
銀座ライオンにて

新春懇親会は1月28日(日)11時半〜14時の開催で、銀座7丁目にある銀座ライオンビル6階の「クラシックホール」で開催します。

東京メトロ銀座駅、都営地下鉄東銀座駅から徒歩5分、新橋駅から徒歩10分です。

今回の講演は早稲田大学競走部駅伝監督の花田勝彦氏です。箱根駅伝直後であり最新のお話が聴けることと思います。

多くの方のお越しをお待ちしています。


会費は8,000円です。



花田勝彦氏

花田勝彦氏プロフィール

1971年京都市生まれ、滋賀県出身。滋賀県立彦根東高等学校を経て1990年、早稲田大学人間科学部スポーツ科学科入学。




早大三羽鳥の一人として1993年の箱根駅伝では4区区间新記録で8年ぶりの総合優勝に貢献。

卒業後は瀬古利彦氏が監督を務めていたエスビー食品に入社。アトラクタオリピック、シドニーオリンピックに連続出場。

2004年、上武大学ビジネス情報学部准教授・上武大学駅伝部監督

2016年、創設されたGMOインターネットグループ陸上部監督に就任。


2022年6月に早稲田大学競走部駅伝監督に就任。



記念品購入のお礼と校友会年会費納入のお願い

1. 稲門祭記念品購入及び奨学金寄付金をお願いしておりましたが、実績46万円となり、目標額44万円を達成いたしました。皆様のご協力に深く感謝いたします。
2. 世田谷稲門会は早稲田大学校友会年会費納入者数が多く、補助金も多く支給されています。ほとんどの方が毎年納入いただいていると思いますが、失念して未納の方は納入をよろしく願いいたします。

事務局長 戸田 昇



稲門祭開催さる

10月22日(日)、早稲田大学構内にて稲門祭が開催された。当会は大隈庭園内に模擬店を出店した。今年は構内でのアルコールの飲食が禁止となったため、従来から行ってきたビールの販売ができず、ノンアルコールビールと焼き鳥での出店となった。当日は絶好の天気恵まれ、朝早くから幹事やお手伝いの方々から準備して頂き、準備万端で皆さんをお迎えした。好天に人も多く、焼き鳥は早めに完売し、心配していた「ノンアルコールビール」も最後には完売し成功裏に終了した。

(榎並 俊一/記)

令和5年納涼会開催 上野精養軒にて

2023年8月19日(土)、16時半より上野精養軒3階の宴会場(桜の間)にて4年ぶりに開催されました。酷暑のなかの開催でしたが、参加者はご来賓10名を含め85名でした。

山田昭幹事(昭50政経)の司会で始まり、まずは納涼会担当ブロック会(西北会)の代表世話人の桃井清治副会長(昭41政経)から開会の挨拶がありました。

続いて旭正勝会長(昭41商)よりご挨拶です。来賓挨拶は東京都23区支部長の金森捷三郎氏と世田谷三田会会長の三宅茂樹氏から頂きました。近隣稲門会からも大勢参加いただきました。暑い中で早く飲みたいという参加者の意向をくんで、皆さん挨拶は短めでした。



西北会の代表世話人
桃井清治副会長



挨拶する旭正勝会長



乾杯の音頭を取る
横田吉明前会長

まずは高山恵子さん(昭59文)と楽団南十字星によるラテン・タンゴの演奏です。「フ・クンパルシータ」「愛の讃歌」など8曲を披露いただきました。声量のある美しい歌声に皆さん魅了されていました。



高山恵子さん

続いて「Bourbon Street Parade」など6曲を披露頂き、途中では参加者が曲に合わせてペアでダンスに興じる場面もありました。最後は「聖者の行進」で会場の中を参加者で連なっているパフォーマンスもありました。

早速乾杯で懇親会のスタートです。乾杯の音頭は前会長の横田吉明さん(昭38商)です。精養軒の美味しいフランス料理のコースと飲み放題のお酒を嗜みながら、コンサートのスタートです。



高山恵子さんと楽団南十字星



校歌合唱



ニューオーリンズジャズクラブ稲門会ピックアップバンド

閉会の挨拶は松浦晋三郎さん(昭38政経)をお願いいたしました。締めは応援部OBの小野興さん(令04政経)のリードで、早稲田大学応援歌「紺碧の空」と校歌「都の西北」を全員で歌い大盛況のうちにお開きとなりました。

(榎並 俊一/記)



応援部OB 小野興さんのエール

募金のご協力、有難うございました。おかげさまで二万七千五百四十五円もの多額のご寄付をいただきました。世田谷区内の生きづらさを抱える子どもたちへの支援とさせていただきます。

地域サポート活動部会

代表世話人 井上文

新入会員紹介 (2023年入会)



山口 晃雄(やまぐち あきお) (1985(昭和60)法)

5月に入会させていただいた山口晃雄と申します。

大学時代は「虹の会」と「ツェルマツスキークラブ」の2つのサークルに所属していました。上石神井の学院出身でしたので、早稲田にはトータル7年間お世話になりました。大学卒業後は信越化学という化学会社に入社し、法律は得意でも好きでもありませんが、何故か法務部に30年以上在籍し、現在に至っています。自宅は祖師谷3丁目です。今後ともよろしくお願ひいたします。

宮崎 宏史(みやざき ひろし) (1987(昭和62)理工)



千歳台在住です。理工学部電気工学科を卒業しました。現在はヘリコプター運航の営業をしています。前職では電気設備を管理する仕事をしていたので、伊豆諸島のすべての有人島と小笠原諸島の父島・母島へ行く機会がありました。今後は、プライベートでもいろいろな場所へ行く機会を増やしたいと思っております。皆さま、よろしくお願ひします。

手塚 仁雄(てづか よしお) (1990(平成2)文)



東京5区選出の衆議院議員となる前は、目黒区選出の東京都議会議員でしたので、これまでは目黒稲門会で諸先輩の皆さまとご一緒して参りました。「一票の格差」の是正に伴う選挙区割り変更で、新東京5区のエリアが世田谷区の南部のみとなり、改めまして「世田谷稲門会」に入会いたしました。学生時代は、早大雄弁会に所属。最近、春夏の六大学野球で、神宮へ行くことが楽しみです。早大本庄高の1期生でもあり、早稲田全体の発展にも寄与することができれば幸いです。

中村 朋美(なかむら ともみ) (1994(平成6)教育)

本年7月に入会した中村朋美です。昨年新卒で勤務していた法律事務所から地方公務員へ転職しました。休暇は海外、特にヨーロッパへ飛んでいましたが、コロナ以降遠ざかっていてそろそろ復活させたいところです。週末はオーケストラでヴァイオリンを弾いていることが多いです。学生時代に麻雀に手を出さなかったのが心残りです。よろしくお願ひいたします。



鴻野 智良(こうの ともよし) (1998(平成10)商)



長野県生まれ、山形県立山形東高校卒です。証券会社に就職し、営業で仙台、町田、武蔵小杉、上野、秋葉原、梅田で支店勤務をしました。2019年に税理士試験に合格し、昨年10月に兼業で代田の自宅で開業しました。現在、平日は証券会社で人材育成に従事し、土日祝日は税理士活動をしています。時間が許せば土曜は経堂の魚真で刺身を買ひ、赤堤の朝日屋酒店で生酒を買ひ、晩酌するのが楽しみです。皆さまよろしくお願ひいたします。

＝母校の今＝(第41回)

《2022年度の早大卒業生進路状況について》

学部就職率は96.8%（6月1日現在文部科学省の基準により算出）であった。卒業生の就職先は大手企業のみならず約2,400社の企業・団体に亘っており、卒業生が社会の多様な分野で活動をしていることが窺える。

	進路報告者	就職者	進学者	*その他
・学部	8,465名	5,927名	1,851名	*687名
・大学院	2,854名	2,001名	246名	*607名
*その他には資格試験受験者…学部：212名、大学院：181名を含む。				

《学部・大学院における就職者の多い企業・団体別の状況》

1) NTT データ	…101名	9) 日本アイ・ピー・エム	…59名
2) 楽天グループ	…93	10) PwC コンサルティング	…59
3) 富士通	…82	11) 国家公務員上級職	…57
4) アクセンチュア	…81	12) 東京海上日動火災保険	…52
5) 東京都職員I類	…70	13) リクルート	…52
6) バイカレントコンサルティング英	…65	14) みずほフィナンシャルグループ	…50
7) 国家公務員一般職	…65	15) アビームコンサルティング	…49
8) 野村総合研究所	…62	16) 日立製作所	…45
		17) EYストラテジー・アンド・コンサルティング	…44
		18) 三菱UFJ銀行	…43
		19) 三井住友信託銀行	…43
		20) テトロイト・マツコンサルティング	…42
		21) キーエンス	…38
		22) りそなグループ	…37
		23) 明治安田生命保険	…37
		24) NTTドコモ	…37
		25) 三菱電機	…36
		26) ニトリ	…35
		27) 三井住友銀行	…35
		28) 特別区（東京23区）職員	…34
		29) 日本電気（NEC）	…33

＝以下省略

出典：早稲田大学広報紙「CANPUS NOW」

さて、今年(2023年)度はどのような結果になるだろうか…。(大内 秀行/記)

世田谷ぶらさんぽ

第14回

東急田園都市線二子玉川駅には、「二子玉川ライズ」や「玉川高島屋ショッピングセンター」などの大型商業施設があり、買い物やレジャーを楽しむことができる。一方、多摩川を中心に緑豊かな公園や歴史を感じる神社仏閣や美術館など、魅力的なスポットも満載だ。二子玉川周辺のおすすめスポットを紹介する。

二子玉川公園

豊かな緑と多摩川の水辺に囲まれた場所に位置する、2013年にオープンした二子玉川を代表する人気の公園だ。本格的な日本庭園「帰真園（きしんえん）」もある。



二子玉川ライズ

2011年に開業した「二子玉川ライズ」は、都内最大級の複合施設だ。敷地内には、ショッピングモールの他にホテル・映画館・スタジオなどさまざまな施設があり、一日中楽しめる。

玉川野毛町公園



かつてゴルフコースであったところに開設された公園で、東京都指定史跡である「野毛大塚古墳」が見どころの公園。この古墳は、上に登ることができる貴重

な遺跡で、歴史を身近に感じられるスポットでもある。**赤レンガの壁**（陸間；りくこう）



二子玉川駅のすぐ下流側にある大正時代につくられた堤防の閘門、通常時は生活のため通行出来るよう堤防を途切れさせてあり、増水時にはゲート等により塞いで暫定的に堤防の役割を果たす目的

で設置された施設。

二子玉川緑地

（ふたこたまがわりよくち）

広々とした多摩川沿いの公園。多くの運動場があり、野球・サッカーなどを楽しむことができる。のんびりとピクニックをしながら、運動場を眺めるのもおすすめだ。



五島美術館（ごとうびじゅつかん）



1960年に私立美術館として開館した。この美術館設立の構想は、東京急行電鉄の元会長・五島慶太が自らの所蔵品を広く公開することを望んで開設した。

（榎並 俊一/記）

二子玉川周辺

ブロック会だより

西北

〈秋季懇親会&納涼会慰労会〉

令和5年11月17日(金)午後6時に渋谷道玄坂のパンダレストラン渋谷に会員有志16名が集合。雨も昼過ぎには上がり8月の納涼会依頼久しぶりの会合。

まずは宴会に先立って連絡事項報告(令和4年度会計報告、直近入会者7名の紹介)そして協議事項(サポーター会への昇格者、世話役新任者提案、企画担当制度、初詣&新年会の件)も了承を得た。その後、松浦さんの発声で開宴。レストランの美味しい料理と飲物を味わいながら、納涼会での2バンドの主役、寺島さん、高山さんより出演機会に感謝の弁。続いて久しぶりの参加者の挨拶、若手からの自己紹介、最後は結局全員の近況報告等があった。

柏さんからは2月ごろ羽根木公園にて“梅の会”の提案があった。会は和気藹々の裡に時間となり再会を約して帰途に着いた。

(桃井 清治/記)



千歳

11月25日(土)12時30分から懇親会を粕谷の〈中華料理「広味坊」〉にて開催しました。

懇親会に先立ち、4年ぶりに見学会(散策会)を行いました。祖師谷公園を散策し、4月に一部開通した補助54号線道路を見学しながら懇親会場の広味坊に合流しました。

本部から旭会長、國澤幹事長にご出席いただき、18名で懇親会を開催しました。

店は補助216号線(通称八間通り)に面していますが、この道路の北側への延伸計画とそれに関連する京王線の立体化計画について説明がありました。稲門祭記念品購入と奨学金寄付金が目標額を達成したことの報告とお礼、新春懇親会の案内などの後、食事会に入りました。

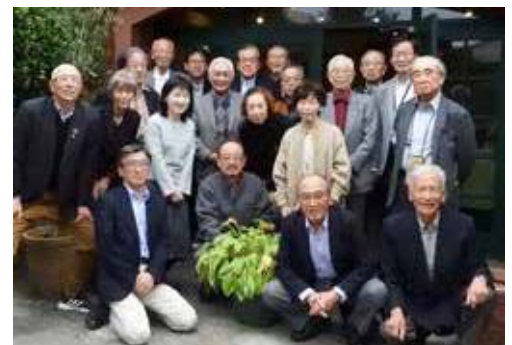
料理とお酒と歓談を楽しみながら、出席者の近況報告がなされ、盛況のうちにお開きとなりました。(戸田 昇/記)



きぬた

〈秋の懇親会〉

2023年11月11日(土)、11時半から千歳船橋のイタリア料理店「オーランド・ヴー」にて4年ぶりとなる対面での懇親会を実施いたしました。本部からは旭会長、戸田事務局長にご参加いただき、計23名の参加となりました。榎並代表の挨拶の後、旭会長から早稲田大学や世田谷稲門会の現状についてお話をいただきました。乾杯の音頭は長老の宮木甫さん(1955文)にお願いしました。美味しいイタリア料理を楽しみながら参加者全員から自己紹介と近況報告などをいただき、2時間半はまたたくまに過ぎてしまい、一本締めで締めくくりました。(石綿 宏/記)



けやき

2023年9月9日(土)、秋季懇親会およびそれに先立つイベントを開催しました。イベントの参加者は7名、懇親会の参加者は世田谷稲門会本部からのご来賓4名を含めて24名でした。

イベントは川崎市立日本民家園で、丘陵地帯に点在する23棟の古民家を見学しました。こどもの頃の田舎を思い出し、また昔の生活について勉強する良い機会になりました。沢山歩いたので、懇親会のビールは最高でした。



懇親会は登戸の「磯料理 元海」で行い、美味しいお刺身や鰻などを堪能しました。懇親会の最後には「他のお客様の迷惑にならなければ」という制約は有りましたが、小さな声で校歌斉唱とエールを行い、稲門会らしく締めくくることが出来ました。
(花澤 隆/記)

玉川

2023年9月27日(水)新橋の「潮夢来」中華料理にて、「金について」と題し、玉川平成会の会合が開かれた。玉川平成会は卒業年次が平成の若手会員の集りで、年4回程度、先輩を招いて経験談を聴講し、勉強と親睦を図っている。今回は予定の講師が欠席のため、代わりに玉川平成会代表の真木郁夫氏(65 理工)にお話を頂戴した。

同氏は出身元の住友金属鉱山(株)で貴金属部を統括した経験があり、金を語るにふさわしい経歴の持ち主です。住友金属鉱山といえば所有の菱刈鉱山(鹿児島県)が高純度の金鉱脈を有することで有名。昔は佐渡などにも金山があったが、いま日本で金を採掘しているのは菱刈鉱山だけです。

今年9月に金1gが1万円を超えた。金の価格は需要も供給もその要因が多様で、先の価格が正確に見通せないのが現実です。だからこそ投機の対象となるのかもしれませんが。このまま1万円をさらに超えて上がり続けるのか、会合の参加者の関心が集中したが、真木氏は微笑むばかり。

金の物的特性から始まって価格の推移に至るまで、「金について」知識を深めたタイムリーな企画の会合でした。

(牧 哲郎/記)



キャロット

令和5年10月7日(土)11時30分から三軒茶屋の中華料理「燕来香(インリヤン)」にて、今年度の忘年会の打合せを実施しました。キャロット会の世話人及び会員9名が集まり、近況報告も兼ねたランチミーティングとなりました。例年より沢山の方に忘年会へお越し戴くにはどうすれば良いのかという議題で話し合い、萩原世話役からは、カラオケを中心とした企画について発案があり、女性会員から「女性同士で行って楽しかった二次会のカラオケ」について紹介がありました。今回は12月2日(土)午前11時30分から近況報告を兼ねた懇親会として上記「燕来香」にて開催を決定しました。
(森山 健太/記)



特別部会だより

青年

7月27日(木)に日本製鉄代々木倶楽部内のレストランにて2023年の第2回目例会を開催しました。佐伯世話人がこの例会の担当幹事を務めました(残念ながら、当日は体調不良のため欠席され、中島代表世話人が代役を務めました)。

今回は阪本英樹さんと中村朋美さんの2名が初めて参加され、合計19名の会員が出席し、会食しながら楽しく交流しました。新入会員の自己紹介、既存会員の簡単な紹介を交えながら、楽しい懇談がレストランの閉店時間まで続きました。最後に全員の集合写真を撮ってお開きにしました。

(中島 史郎/記)



地域サポート活動/レディ-スクラブ

両特別部会では、かねてから日頃ご尽力いただいている役員の方々に、なにかしらの感謝の念を表したいと考えていましたが、コロナも長期化しなかなか実現できないうちで、コロナが少しずつ鎮静化に向かったタイミングと、会の各種イベントの隙間をねらって、9月2日の土曜日の午後、気楽にお昼を召し上がりながらくつろいでいただこうとささやかな席を設けました。

また、併せて新入部員の歓迎会も対面でできていなかったため、都合のつく方に来ていただきました。残暑もまだまだ厳しい日でしたが、お声かけさせていただいた方のうち、旭会長、國澤幹事長、榎並副幹事長、戸田事務局長、山田会計担当幹事の5名と、新入部員としては小倉さん、森山さんの2名においでいただきました。会場は下北沢駅から徒歩6分、繁華街から一步入った隠れ家のようなスペースで、4異業種が入居しているシェアオフィス、「COS(コス)下北沢」です。この2階にお惣菜を配達する「NPO法人グループ菜」があり、ここから1階の貸しホールまで手づくりのお料理をデリバリーしてもらいました。部会のメンバーも含めて、10数名というこじんまりとした会になりましたので、それぞれの趣味のお話など、和気あいあい、プライベートな話題で盛り上がりしました。

なお、8月19日(土)に上野精養軒で開催された納涼会では、参加者のみなさまから、27,545円ものご寄付をいただきました。

世田谷区の生きづらさを抱える子どもたちへの支援に使わせていただきます。遅ればせながら心から御礼申し上げます。

(井上 文/記)



趣味の部会だより

ゴルフ

2023年10月12日(木)、都内の武蔵野ゴルフ倶楽部にて第116回ゴルフコンペを開催しました。当日は天気もよく、18名の皆さんにご参加いただきました。

総合優勝は佐伯基憲さん、スコアは42:46=88、IID17、NET71でした。グラウンドシニア優勝は宮坂尚利さん、シニア優勝は青木誠司さんでした。

バスマグロは小林宏さん、スコアは39:42=81でした。

11月8日(水)、久瀬カントリークラブにて早稲田大学校友会コンペが開催され、当会からも2組(8名)が参加し、団体戦、個人戦に奮闘しました。4年ぶりにフルショットガンスタートでの開催で、終了後のパーティも実施されました。

第117回コンペは11月28日(火)に桜が丘カントリークラブで開催されました。本会報が発行される頃には終了しておりますが、詳細および結果についてはホームページに掲載しておりますので参照ください。(榎並 俊一/記)



左から、宮坂さん、佐伯さん、青木さん

食べ歩き

2023年7月20日(木)、第90回の食べ歩き部会を開催。表参道ヒルズ内の「FRATELLI PARADISO(フラテリ パラディソ)」が会場となりました。表参道ヒルズは、かつての同潤会青山アパートメントの跡地を森ビルが中心となり再開発した施設で、建築家の安藤忠雄による設計でも有名です。ヒルズ3階にある同店は、シドニー発の人気イタリアンダイニングでサラダビュッフェが充実していました。

今回は30名の方にご出席いただき、新しく河上保さん(77 理工)、宮田大さん(86 政経)に参加いただきました。閉会後の集合写真は、本館のモダンな印象と一線を画すたたずまいの「ギャラリー同潤館」の前でパチリ。食べ歩き部会は、皆様のご参加をお待ちしております。



(森山 健太/記)

俳句

令和5年5月の句会は兼題「更衣」、6月は「祭り」、7月は「トマト」、8月は「鯛」、9月は「新米」でした。5月～8月は桜新町区民集会所、9月はメールと葉書による投句の句会でした。句会は兼題の他に自由句2句を持ち寄りました。高得点句を掲載します。(富塚 兆彌/記)

木漏れ日のいよ高まりて靈気密つ	利水 (江原利次)	百歳の宮司をよけし祭客	牧水 (津島晃一)
野路行けば蕃茄浮かべる井戸の水	広 (矢後勝洋)	水撒きてグランド匂ふ試合前	まもる (松尾 守)
燃え盛る北半球や熟れトマト	英仙 (阪本英樹)	鯛やバリカンで刈る禿げ頭	恵那 (榎並俊一)
父母の墓遠くにありて秋彼岸	兆弥 (富塚兆彌)	新米の報らせにわかる寿司のれん	勝 (田中 勝)
迷蝶の骸掃き寄す野分あけ	雪子 (家井雪子)		

釣り

大田稲門会とコラボでアジ釣り

9月18日(月)世田谷稲門会と大田稲門会の有志によるアジ釣りを久里浜の船宿から一艘借り切って開催しました。参加者は11名。浦賀沖の潮の流れの速い、40メートルの深場でのアジ釣りは微妙な当たりや竿を合わせなければなりません、当日は風が強く波もあり初心者にはなかなか当たりが判りづらい難しい釣りでした。

それでも最初は手間取っていた方も少しずつ要領がつかめ何とかお土産を確保できました。これをきっかけに大田稲門会に「釣り同好会」が発足するそうです。

これからも時々コラボでの釣り会を開催することを約束して散会しました。(寺島 邦夫/記)



映画

(稲映会)

2023年9月16日(土)、東京住友クラブにて名作映画上映会を開催しました。今回は2016年に公開され各賞を受賞された「カノン」を上映しました。早稲田卒の雑賀俊朗監督(75社学)にも同席いただき、16名が参加して鑑賞しました。監督から直接いろいろなお話を聞くことができ、参加者はみな満足して解散となりました。

10月2日(月)、東京住友クラブにて名作映画上映会にて「海街diary」を鑑賞しました。11名の参加でした。映画の撮影場所の極楽寺は11月2日に実施の鎌倉散策でも立ち寄る場所ですので参考になるのではとのことでの鑑賞でした。

11月2日(木)、朝9:45に北鎌倉駅に集合し、パークホテルにて昼食、映画「海街diary」の現場だった極楽寺駅や鶴岡八幡宮、川喜多映画記念館などを散策しました。参加者は14名でした。(榎並 俊一/記)



スポーツ観戦

東京六大学野球と関東大学ラグビー(対抗戦)の現在の状況です。

【東京六大学野球】

慶應	10勝	3敗	1分	勝率 0.769
明治	9勝	4敗		0.692
早稲田	8勝	4敗		0.667
法政	6勝	7敗	1分	0.462
立教	2勝	8敗		0.200
東大	1勝	10敗		0.091

(10月30日全日程終了)

【関東大学ラグビー(対抗戦)】

9月10日	早稲田	64 - 7	立教
9月24日	早稲田	38 - 35	筑波
10月1日	早稲田	70 - 7	成蹊
10月14日	早稲田	54 - 17	青学
11月5日	早稲田	21 - 36	帝京大学
11月23日	早稲田	43 - 19	慶應
12月3日	早稲田	-	明治

(小林 昭一郎/記)

「緑の遊歩道に沿って」

令和5年7月2日(日)横浜市営地下鉄東山田駅に12名の会員が集合。天候は真夏日。案内人は滝川博志さん。『せきれいの道』、早淵公園散策、水鳥の群れる大きな池と古民家のあるせせらぎ公園、正覚寺を散策。

「代々木八幡宮から明治神宮へ」

令和5年9月23日(土)代々木八幡駅に有志14名の会員が集合。天候はまずまず。案内人は徳往あつしさん。代々木八幡宮は秋祭りの大賑わい。東京乗馬倶楽部、ポニー公園で一服。北参道から明治神宮(写真)で参拝。

(桃井 清治/記)

同好会

温泉・小旅行

羽田空港の温泉に行きました。

今年度二回目の活動は9月18日(月)、羽田空港第三ターミナルの駅に直結する「泉 天空の湯」への入湯で、今回は会員19名中男性8名女性1名の計9名が参加。天気は快晴、30℃を越える真夏日での開催でした。

京急「羽田空港第三ターミナル駅」改札口に13時半集合、通路を数分歩きエレベーターで12階の温泉に到着。風呂は男女用とも内風呂も露天風呂もあって、どちらも一部は地下から汲み上げている“天然温泉”で少し塩味のある弱アルカリ性の「含ヨウ素-ナトリウム塩化物強温泉」、湯温は多少温めではありました。

青空の下、露天風呂からは離陸し上昇する旅客機、多摩川の流れ、京浜工業地帯の工場群や横浜のランドマークタワーが見渡せ、季節によっては遠く富士山も見えるそうです。温泉の楽しみのひとつは、“湯上りの1杯”で、今日も施設内の食堂で「地ビール」を味わいながら初参加の方々の挨拶と次回以降の活動候補となりそうな“温泉情報”を小1時間歓談し、成功裡に活動は終了しました。

(斎藤 正憲/記)



歴史

5月は「重要文化財に指定の城郭7城」、国宝5城に次ぐ重要文化財のお城は、全国で7城があります。

6月は担当の病欠により延期し7月「弥生時代—史実と伝承」、弥生時代には稲作・金属器が渡来し、日本書紀などの伝承もあります。

8月は『西南戦争—その歴史的背景』明治維新後急激に進めた政府の改革に不満を持った土族の反乱で、西郷軍が破れて日本最後の内戦は終わりを告げました。

9月は『世田谷の土地利用史(下北沢編)』下北沢は江戸時代の農業から賃貸業への転換が早く進み、今では若者の街として賑わっています。

歴史同好会は、毎月第2土曜日キャロット3Fを原則として例会を開催していますが、会場や日時を変更の可能性も出てきています。

聴講ご希望の方は2週間前以前に林(k.hayashi@pm-ms.tepm.jp)宛お申し込みください。

(林 馨/記)



SS会

(スキー&スノボ同好会)

2023年11月4日(土)キャロットタワー3階の生活工房にて久しぶりの顔合わせ会を実施、次のシーズンでのスキー合宿の予定などについて話し合いました。2024年1月~2月に2~3泊程度の合宿を2回程度実施する予定です。興味がおありの方はご連絡ください。

終了後「さんじゅうまる」にて懇親会を実施いたしました。

(榎並 俊一/記)

会員の広場

一年前の「里帰り」

阪本 英樹(昭62文)



母校の校友会よりホームカミングが3年ぶりに復活する旨のハガキ案内が届いたのは、昨年の夏もそろそろ終わる頃でした。コロナ禍の影響で開催できなかった由。過去3年分が朝、昼、午後の3部構成で執り行われ、私が卒業した昭和62年(1987)年次の式典(第3部)は午後3時からとなっていました。

ハガキを手にして、「卒業してからもう35年も経つのか」と感慨深げに呟き、「久しぶりに里帰りしたいな」という思いが心の奥底から沸き起りました。

それまで約3年間続いたコロナ禍で外出が大きく制限された影響も確かにありましたが、式典一ヶ月後には自分が

満65歳を迎え、前期高齢者の仲間入りをするところによるところが大きかったです。

思い立ったら吉日。早速、語学のクラスメイトや国内遠征、卒業旅行として参加した訪中団(「緑の訪中団」と「障害学生友好訪中団」)の仲間たちと連絡を取って誘ってみることに。結局、学生サークル・青嵐舎主催の第3次「緑の訪中団」(1986)仲間の石川先輩と金子さんと一緒に「里帰り」することになりました。お二人は津市と藤沢からそれぞれ母校を目指し、午前11時、文学部正門斜め向いのファミレスで予定通り揃いました。久しぶりの再会で盛り上がり、腹ごしらえをしてから、昼過ぎに本部の稲門祭会場へと繰り出しました。

まず目に飛び込んできたのが「稲門祭パレード」でした。ブラスバンドのけたたましい音に思わず引き寄せられて、人込みの中を分け入り、拳を振りながら、「思いっきり校歌を斉唱していると、学生時代に瞬時戻ったような錯覚に捕らわれました。その先に「稲門会」のテントがあり、1年後輩の神原さん(「中野稲門会幹事」と合流しました。そこ

で國澤大先輩に初めてお会いし、念願の入会をスムーズに果たしました。それから程なくして、当会の創立30周年祝賀会に飛び込み参加させていただき、地元「玉川会」で新人歓迎会を開いていただきました。

あれから瞬く間に1年が過ぎ去ろうとしています。その間、「俳句の会」、「映画部会」、「青年部会」に相次いで入会し、お陰様で充実した日々を過ごしています。



(写真に向かって右端から) 金子さん【社学3年(第三次緑の訪中団)参加当時の学部学年。以下同。】、石川さん(法5年)、神原さん(政経2年)、阪本(一文3年)。左側奥に「世田谷稲門会」の幟が見えている。右上角は「稲門祭パレード」のステージを筆者が後ろから撮ったもの。

サロン・せたがや

「大人の片付けプロジェクト」

喜柳(きやなぎ) 俊幸(昭和52政経)

最近、「断捨離」とか「終活」とか10年前にはほとんど聞かれなかった言葉がマスメディアにしばしば登場します。ただ、多くの方にとっては相続対策や不動産の処分については一生に何度も経験することではないため、何かの相談相手がほしいことだと思います。

一方で不動産業界に限らず、機会があれば高齢者から搾取しようとする輩が存在することは否定できません。そんな世の中の状況を踏まえ、私が所属する不動産稲門会では、一昨年、早稲田大学の校友向けの「大人の片付けプロジェクト」をスタートさせました。

不動産稲門会は、不動産業に関わる宅建士、建築士、弁護士、税理士など、稲門OB約450名で構成されており、今年設立30周年を迎えます。

「大人の片付けプロジェクト」のメニューは、専門の不動産の売却・有効活用等をはじめ、相続相談、空家対策、残置物処分、墓じまい等多岐にわたり、終活にあたって面倒な片付け事にお悩みをお持ちの校友の皆様、本会所属の専門家の知恵を集めて対応するものです。

相談は無料で基本的な調査は実費のみで行っています。加えて対応するメンバーが校友ですので絶対安心です。既に世田谷稲門会の会員の皆様からもご相談をいただき、お手伝いさせていただいています。どうぞお気軽に相談いただければ幸いです。

喜柳 俊幸 kiyanagi53@gmail.com 080-1202-7772



世田谷稲門会 会員異動状況 令和5年 9月30日現在 (正会員391名準会員31名)

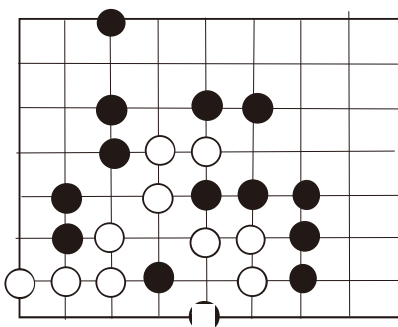
※個人情報保護の観点から住所詳細、電話番号、メールアドレスの記載は省略しています。

個人情報につき不掲

事務局からのお願い；

会員みなさまの入退会はもとより、転居の場合は郵便局への届け出だけではなく、世田谷稲門会事務局にも忘れずにご連絡ください。また、電話番号、e-mail アドレス、ブロック会の変更、名簿の修正事項も事務局まで必ずご連絡ください。

事務局担当 篠崎 章子 電話 03-3305-4650 e-mail ; shinoshoko@gmail.com



【詰碁の答】

正解:☆に黒コスミ、その右横を白が押さえたら根元を切るだけ。これで白どうにもならず頓死。
よくある手筋で、ただ知っているかどうかです。

【詰将棋の答】

正解 2一飛 同玉 3二金まで

編集後記

各部会の活動もようやく活発になってきたようです。また、同好会に参加される方も増えていきます。こうしてみると、趣味の活動の種類も変わっていてもいいのかなと思います。どなたでも気軽に新しい活動を立ち上げていただけるといいですね。

前号に引き続き、新入会員の方のご紹介ができたのも嬉しいことです。新型コロナウイルスによる活動停滞が続いた影響で会員数も減少気味だったところ、頼もしさを感じます。

さて、身の回りに目を転じると、高齢化により日常生活に支障をきたした同級生も出てきて、個人として「昨日と同じ明日がくるとは限らない、去年と同じ来年がくるとは限らない」のを実感するこの頃です。また日々のニュースに接すると、世界としても同様なのかしら、と思ってしまう。

早くも師走、来年こそは世田谷稲門会の会員がどんどん増え、気がついたら、あちこちの戦争は終わっていたという事にならないものかと夢見ています。

(鷺巣 俊子/記)